

事務事業チェックシート

事務事業No 303 事業名 里親助成事業

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
基本方針	4	保護・援助を必要とする子どもへの支援

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	～	
事業実施の根拠法令	児童福祉法	
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	こども総合支援センター	市川 雅章(402-7830)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計	一般会計	
	款	民生費	
	項	児童福祉費	
	目	児童福祉総務費	
	大事業	児童福祉総務事業	
事項	里親助成事業		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か） 和歌山市里親会の事業費の一部助成を行うことで会の連携強化及び技術の向上をめざす。	事業内容 里親会の活動に対し助成する。 《補助金交付の流れ》 里親会より交付申請→申請書受理→審査・交付決定→補助金の交付→事業完了報告提出→補助金確定通知書を発行 里親制度の普及啓発等				
	実施内容	平成25年度 ・和歌山市里親会の活動推進を図るための助成を実施 ・里親制度の普及啓発及び周知 ・里親会総会への参加	平成26年度 ・和歌山市里親会の活動推進を図るための助成を実施 ・里親制度の普及啓発及び周知 ・里親会総会への参加	平成27年度 ・和歌山市里親会の活動推進を図るための助成を実施 ・里親制度の普及啓発及び周知 ・里親会総会への参加	平成28年度	平成29年度

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	20	20	20	20	20					
伸び率 (%)	-	-	0.0%		0.0%		-100.0%		-	
人件費	常勤職員	1,838	1,435	1,449	2,186	2,186				
	非常勤職員	0	81	81	69	69				
	小計	1,838	1,516	1,530	2,255	2,255				
国庫支出金	0	0	0	0	0					
県支出金	0	0	0	0	0					
市債	0	0	0	0	0					
その他	0	0	0	0	0					
一般財源(税等)	20	20	20	20	20					
所要人数	常勤職員	0.25	0.19	0.19	0.29	0.19				
	非常勤職員	0.00	0.04	0.04	0.03	0.03				
主な予算内訳	和歌山市里親会への補助金(20千円)									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	普及啓発実施回数(ポスター貼付、チラシの配布、講演会等の実施)					年度目標値	5	5	5	
						実績値	4	4		
	単位	回	全体目標値	1	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度			
			年度目標値		年度別達成度					
成果指標	和歌山市里親会登録の里親数					年度目標値	4	4	4	
						実績値	4	4		
	単位	組	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			
			年度目標値		年度別達成度					
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
		実績値		年度別達成度						

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持				
	縮小				
	廃止	○			
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市里親会の運営のための助成は必要ないので、今後和歌山市里親会への助成は行わない。
「見直し」 「改善」案	里親制度の啓発のための事業を、要保護児童対策地域協議会事業の啓発事業とする。